

熊本県議会議員

# 池永ゆきお



会報 幸友会

第8号

令和8年1月

討議資料

弁天山から臨む初日の出 撮影/池永幸生

発行者/熊本県議会議員 池永幸生 ☎096(227)8660 FAX096(227)8400 Mail:ikenagajimusyo@gmail.com



## 新年のご挨拶

新年を迎え、健やかに過ごしたのと  
とお慶び申し上げます。日頃より私  
の活動に温かいご支援を賜り、心より  
感謝申し上げます。地域の利便性向上  
と安定した暮らしの実現を目指し、こ  
れまで取り組んできましたが、い  
ただいた多くのご意見やご要望を踏ま  
え、今まで以上に全力で地域課題の解  
決に努めてまいります。

JAS Mの第二工場の工事も始まり  
稼働後の交通渋滞や水・電力・排水な  
どの課題、生活環境への影響など心配  
される点は少なくありません。県とし  
ても基準の整備や調整を進め、地域の  
皆様が不安なく生活できるよう取り組  
んでまいります。

若い世代の流出を防ぐため、熊本で  
暮らし続けたいと思える環境づくりを  
進めることが重要と感じています。最  
後に熊本県並びに合志市の発展を願  
いつつ、皆様方の代弁者として、より良  
い地域の実現に向けて努めてまいりま  
すので、引き続きご支援を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

まだまだ寒い日が続きますのでどう  
ぞご自愛ください。  
皆様の御多幸を心からお祈りいたし  
ます。

池永幸生



主要交差点の立体交差計画イメージ



### 道路整備事業の概要図

#### 中九州横断道路とは？

大分市と熊本市を結ぶ高規格道路で、この道路が整備されると、大分市、熊本市を中心とした両県の都市圏を相互に連絡し、沿道地域の産業発展、地域活性化が期待されます。また、九州縦貫自動車道及び東九州自動車道と連絡されることにより環状ネットワークが形成され、地域間の交流が活性化されるとともに、災害時においても信頼性のある道路として地域の安全・安心に大きく貢献します。



### 中九州横断道



### 辻久保バイパス ようやく開通!!

県道大津植木線「辻久保バイパス」

日時：令和7年12月20日(土)



### 道路整備の進捗状況

#### 動物愛護センター業務内容

1. 動物の保護・飼育  
2. 動物の譲渡・譲渡先への指導  
3. 動物の処分  
4. 動物の検疫・検疫結果の報告  
5. 動物の検疫・検疫結果の報告

#### 熊本県動物愛護センター アニマルフレンド熊本

～施設概要～

〒961-8501 熊本市東区大津植木1-1-1

TEL: 096-227-8660

FAX: 096-227-8400

宇城市松橋



令和7年8月6日

人と動物が安全に幸せに共に暮らせる  
社会づくりについて学びました

#### 環境を考える議員の会 管外視察(沖縄)

全国に先駆けて昨年3月  
から開始された水素混焼発電  
実証の取組を調査する

7月28日～29日

#### 肥後銀行合志支店が アンビーへ移転しました!

【10月27日 移転OPEN式典】

合志支店 移転オープン

～式典に参加しました～

#### 令和7年度 菊池地域献穀事業

5月27日 清祓祭・播種祭  
6月21日 御田植祭  
10月4日 抜穂祭  
10月16日 奉告祭

清祓祭にて...

「嶋田ご夫妻の美味しいお米が天皇陛下の  
新嘗祭へ無事に献上できますように」  
と玉串を捧げました

#### 令和7年度 菊池地域献穀事業

5月27日 清祓祭・播種祭  
6月21日 御田植祭  
10月4日 抜穂祭  
10月16日 奉告祭

清祓祭にて...

「嶋田ご夫妻の美味しいお米が天皇陛下の  
新嘗祭へ無事に献上できますように」  
と玉串を捧げました

#### 農林水産常任委員会 管外視察 (旭川方面)

- ❖ 国営緊急農地再編整備事業  
農地の対区画化推進による地域農業の未来を  
見据えた取組みについて
- ❖ 旭川デザインセンター  
木材の高付加価値化を参考するため
- ❖ 一般財団法人富良野市農業担い手育成機構  
新規就農者確保の取組みについて
- ❖ びえいフーズ株式会社  
地域農家と加工業者の連携強化について
- ❖ 北海道立北の森づくり専門学院  
道産木材の利用拡大の取組みについて



### 最近の県政の動向

- ◆新政権への期待と国の経済対策への対応
- ◆令和7年8月豪雨への対応
- ◆半導体関連産業の更なる集積
- ◆球磨川流域の創造的復興と「緑の流域治水」
- ◆幹線道路ネットワークの整備

### 私の一般質問

### 平成大合併の検証に基づく変革について

**質** (1) 合志市の平成の合併から20年。次の時代に向けた検証と対応が必要である。半導体関連産業の進出や人口増加により、交通渋滞や教育施設不足、住宅問題などが顕在化している。

今年3月に策定の「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」は、県的重要施策であり、熊本らしい自然と調和した拠点形成を目指すものである。一方で、優良農地の保全や営農継続も重要であり、農業支援技術の開発にも力を入れるべきと考える。拠点となる「イノベーション創発エリア」や、運営を担う「パークマネジメンツ法人」の役割が重要であり、交通アクセスを活かした住宅・商業・教育施設の整備も不可欠と考える。具体的な進め方について知事の考えを伺う。

**答 知事** イノベーション創発エリアは企業や大学、研究機関が集う産学官連携の拠点となることを期待している。一方、周辺は県内有数の農業地帯でありスマート農業の導入で、営農の持続を支える。また、「パークマネジメンツ法人」は台湾の事例を参考に、維持・管理・運営や企業支援を担う。

県は民間事業者と連携し、相乗効果を生み出し、各自自治体の生活・住環境の整備が円滑に進むよう、後押ししてまいらる。

**要望** 働く人の生活、住環境充実重要とお答えいただいた。あくまでも民間開発意欲が各自治体の都市計画に委ねるのかを再検討頂きたいと切望する。

**質** (2) セミコンテックノパーク周辺では企業集積などにより交通量の増加が見込まれ、渋滞対策が必要である。特に、御代志地区とセミコンテックノパークを結ぶアクセス強化のため、大津西合志線や国道387号などの整備が重要である。

**答 土木部長** 合志市では慢性的な渋滞が発生しており、その解消が重要課題。短期的には、大津西合志線の豊岡・福原交差点での右折レーン延伸。再春医療センター前ではバスベイ設置による混雑緩和効果が確認されている。中期的には、国道387号須屋工区で立体交差部を含む4車線化を進め、NEXCO西日本や警察と協議の中今後地元説明会を経て本格着手予定。また、年内開通予定の県道大津植木線・辻久保バイパスは、混雑緩和と時間短縮が期待される。県は、国道387号や大津西合志線など基幹道路の整備を含め、渋滞対策に取り組んでいる。

**要望** 387号線においては朝や夕方に渋滞の波は衰えず、むしろ最近では増えた感がある。須屋区については以前にもこの場で質問しておるとおりであり、4車線化が着実に進んでいる事には感謝申し上げる。



**質** (3) 渋滞を解消するためには、道路整備だけでなく、公共交通の利用を促進する必要がある。熊本市内方面からセミコン周辺への通勤では、原水駅からの通勤バスが運行されているものの、さらなる改善が求められる。また、令和5年9月定例会で提案した「御代志駅からセミコン周辺までのバス路線」については、令和6年2月に実証運行が実施された。そこで実証運行の結果をどのように評価しているのか、通勤時の公共交通機関へのシフトを図るために、どのような取り組みを行っているのかを企画振興部長に伺う。



**答 企画振興部長** 2月のバス実証運行では、乗換利用は3割程度と伸び悩み、今後合志市と公共交通利用者のニーズ把握を進め、利用が見込める運行形態を探る。JR九州に運送力強化を促す要望を行い、今年7月に「豊肥本線輸送力強化促進協議会」を成立し、関係者が連携して取り組む体制を構築した。原水駅とセ

ミコンテックノパーク周辺を結ぶ通勤バスは利用者増加に伴い、増便や昼便の実証運行も始まった。10月からは県の補助制度を活用し、大津町で通勤バスの実証運行を開始予定である。

### 最低賃金に対する知事の受け止めと県の支援策について

**質** 今年度の本件最低賃金は、過去最大82円アップの1,034円で来年1月適用と初めて1,000円を突破し、全国最大の上げ幅となった。最低賃金の大幅アップは労働者からは歓迎されるが、中小零細の事業者は厳しく受け止めざるを得ない。政府は2020年代までに全国平均を1,500円とする目標を掲げた。最低賃金制度は、労働者の生活保障のセーフティネットとして赤字企業も含め強制力を持って運用される。そこで、知事は今年度の最低賃金をどのように受け止めておられるか尋ねる。



**答 知事** 最低賃金引き上げは、企業が利益を出し、原資を確保できることが大前提で、生産性の向上等による経営基盤の強化、適正な価格転嫁が進むことが重要である。国は既に、設備投資費用の一部を助成する業務改善助成金について対象事業者の拡大等を実施し、中央審議会の目安額を超える引き上げ幅となった。都道府県には、交付金等で支援を行う。今後、商工団体等と連携し、中小企業・小規模事業者の不安を受け止め、生産性の向上や価格転嫁等の取り組みを力強く支援してまいりたい。

**要望** 働く人にとっては喜ばしいことですが、企業にとつては大きな負担になっている。中小・零細企業では、売上や利益が追いつかず、廃業に追い込まれるケースも増えている。仕入高騰や人手不足、勤務時間の削減など、厳しい経営判断を迫られている。社会保険料の負担軽減や課税最低限の引き上げなど、総合的な対策が必要だ。県には、地域の企業を守り、雇用を支えるための一層の支援を期待する。

### 子どもを取り巻く問題について（不登校・ヤングケアラー）

**質** (1) 不登校児童生徒への支援 全国で不登校の子供たちは11年連続で増え、県では5848人。2023年に文部科学省は総

合的方針を公表し、「不登校特例校」等の設置を進めていると聞くが、受け皿の確保だけではなく、不登校の児童生徒たちが安心して過ごせる環境づくりが必要ではないか。

**答 教育長** 県では登校はできるが、教室に入りづらい児童生徒に、別室で学習等が可能となる「校内教育支援センター」を設置する市町村へ支援を行っている。自宅から外出できるが、登校できない児童生徒には、市町村教育委員会が設置する「教育支援センター」や民間団体等が設置する「フリースクール」等が支援場所となっている。10月から主に家庭等で過ごしている児童生徒への支援として、「オンライン教育支援センター」を開校し、5市町村で試行する。不登校の未然防止対策として、学校の風土や雰囲気を見える化」する取り組みと、効果的な教職員研修に取り組んでいる。

**質** (2) ヤングケアラーの支援 2020年度の全国調査では、中学生の約5.7%がヤングケアラーである可能性があり、高校生は約4.1%、2021年度の追加調査結果では、小学校高学年の約6%が該当する。ヤングケアラーが直面する問題の一つには学業成績が低下し、将来に影響を及ぼす可能性がある。二つ目は孤立感を経験し、心理的なストレスを抱える。三つ目は長期の責任やストレスで精神的不安やうつ病等に苦しむ。また、適切なサポート体制が整っていない。必要情報やリソースにアクセスできないことがある。県は、「子どもまんなか熊本」を推進しているが、現在、ヤングケアラーの取組としてどのような施策が取られているのか、実情・課題、解決策等について健康福祉部長に尋ねる。



**一人で悩まないで!**

熊本県ヤングケアラー相談支援センター

☎096-384-1000 (火・水・木)8:30~17:00

✉kumamotoyoung@wonder.ocn.ne.jp

**要望** ヤングケアラーの現状把握と支援の充実を願っている。誰一人取り残さない社会を目指し、子どもや若者に寄り添った豊かな生活の実現を望みます。

### 若者を蝕む大麻汚染について

**質** 数か月前、某大体育部での大麻汚染が報じられ、恐らく熊本でも広がりをみせていると思われる。身体を蝕む大麻問題を早期に解決してもらいたい。若者が薬物に手を染めるのは、興味本意や知人に勧められてなどだ。県下において大麻汚染の現状と今後の対策について、警察本部長に尋ねる。

**答 警察本部長** 県内での大麻事犯の検挙人員は昨年44人、全薬物事犯の検挙人員は104人で、大麻事犯の約6割の26人が30歳未満と若年層の大麻利用が顕著である。県警察では末端利用者の徹底検挙、供給源の遮断などの捜査を推進している。小・中・高・大学生への薬物乱用防止教室の開催、プロスポーツチームと連携した乱用防止キャンペーンなど薬物の危険性・有害性を正しく認識させる抑止活動を実施している。

**要望** この類の犯罪は私達の子どもの時代には想像もできない程多岐に亘っている。多様化する特殊詐欺や、県内の女子高生による覚醒剤使用など思いもよらないほどだ。犯罪で得た多額の資金の流れと摘発もだが、警察はこの類の犯罪から子供や県民を守る責務があると考える。

**ご挨拶**

幸友会会長 宮原康晃

新春のお慶びを申し上げます。

省みますと昨年は青森県東方沖地震・大分市佐賀関での大規模火災・熊本豪雨等痛ましい災害もありました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

今年こそは天災無き・人災無き良き年になりますことを念じています。

さて、皆様方は日ごろから池水幸生の県政活動に対し一方ならぬご支援・ご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

早いもので池水議員も2期目の折り返し地点を過ぎ、益々元気に恵まれた健脚を活かし「行動・傾聴・思考（共に考える）」の姿勢を大切に日々飛び回っている姿には心を打たれるものがあります。今後とも後援会一同力を合わせ、また皆様方のお力をお借りしながら県政活動がしやすい環境づくりに努めていきたいと思います。どうぞ倍旧のご支援をお願いいたします。

終わりに今年も皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。